

男女共同参画プロジェクトチーム
男女共同参画の推進に向けた提言
～ウーマノミクスで新地方創生・日本再生～

令和2年6月4日 全国知事会

近年頻発する自然災害やこの度の新型コロナウイルス感染症をはじめとした新興感染症などの突発的な状況では、平常時の社会課題が一層顕著に現れている。男女ともに、子育てと介護を両立させながら安心して暮らし、働き続けられる環境づくりや、ひとり親をはじめとする困難を抱えやすい人々への支援を日ごろから行っていくことの重要性が改めて明らかになった。

新型コロナウイルス感染症への対応は長期戦になることが予想される。これを契機として、テレワーク等を一気に推し進め、新しい働き方のスタイルを確立するとともに、ワーク・ライフ・バランスの観点から、男女共同参画社会の実現に向け、多様で柔軟な働き方に根本から変えていく必要がある。

また、人口減少に伴い、社会活力の低下が懸念される中、我が国が将来にわたって持続的に発展していくためには、人口の半分を占める女性も個性と能力を発揮し、いきいきと活躍できる社会の構築が不可欠であり、女性活躍の一層の促進が必要である。

しかしながら、女性の政策・方針決定過程への参画はまだまだ進んでいないのが現状であり、家事・育児分担は依然として女性に偏る状況にある。そのため、賃金・雇用面の男女間格差や根強く存在する性別による固定的役割分担意識の解消や、女性も男性も子育てや介護を仕事と両立できる環境を整備するなど、女性活躍とワーク・ライフ・バランスに向けた実効性ある取組みを速やかに推し進めていく必要がある。

また、誰もがいきいきと暮らし、働く環境を整えるためには、あらゆるハラスメントとDVの根絶等、一人ひとりの人権を尊重する男女共同参画の更なる推進が重要である。

については、国に対し以下の事項を提言する。

第1部 新型コロナウイルス感染症拡大により顕在化した課題への対応

- 提言1 女性従事者の多い医療・保育・介護分野等におけるセーフティネットの充実・強化
- 提言2 緊急時にも雇用を継続する環境づくり
- 提言3 テレワーク等の働きやすい制度の導入支援
- 提言4 在宅勤務・自宅待機によるDVリスクへの対応強化、児童虐待対応との連携強化

第2部 持続可能な社会づくりに向けた男女共同参画の推進

- 提言1 性別による固定的役割分担意識の解消に向けた教育の推進

- 提言2 男女の人権を尊重して、安全・安心な暮らしの実現！
- 提言3 女性も男性も子育てや介護を仕事と両立できる環境づくりの整備
- 提言4 若年女性の地方定着・回帰の促進と、「持続可能な社会」の切り札となる女性活躍を促進
- 提言5 L G B T等の多様な性的指向・性自認への理解促進
- 提言6 女性も活躍できる社会づくりに本気で取り組むための十分な財源の確保を！